

国道112号月山道路の雪崩対策について

昨年2月27日に月山IC付近で発生した雪崩災害を踏まえ、山形河川国道事務所では防護擁壁を追加設置するとともに、定期的な現地点検や監視カメラ・積雪深計による監視強化を行ってまいりました。

2月15日に行った点検においてクラック（雪割れ）の発生が確認されたことから、16日に緊急的に詳細調査を実施しております。

その結果、今すぐ雪崩が発生する可能性は低いとされておりますが、対応策としてなお一層の監視体制の強化等を図ることとしましたのでお知らせします。

○点検調査経緯

- ・H23. 12. 28～ 点検調査（2回/月程度）を実施
- ・H24. 2. 15 点検調査において斜面上部にクラック（雪割れ）の発生を確認
- ・H24. 2. 16 専門家による詳細調査を実施

○調査結果（雪崩対策専門家の考察）

今すぐに雪崩が発生する可能性は低いが、以下の対応をとること。

- ①夜間も含めた監視体制の構築
- ②既設擁壁背面の堆雪スペースの拡大
- ③クラックの拡大を感知・周知する体制の構築

○強化策

- ①24時間監視体制や関係機関との連携体制を構築
- ②既設擁壁背面の雪を排雪し、堆雪スペースを拡大
- ③クラック部に伸縮計及びワイヤーセンサーを設置し異状発生時は速やかに通行止めを行う体制の構築

○その他

斜面の積雪状況に応じ交通規制を行う場合もありますので、利用者の皆様の御協力をお願いします。

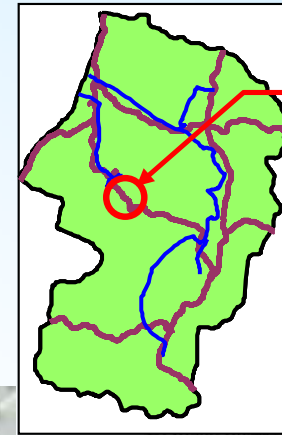
《 発表記者會：山形県政記者クラブ 》

■お問い合わせ先

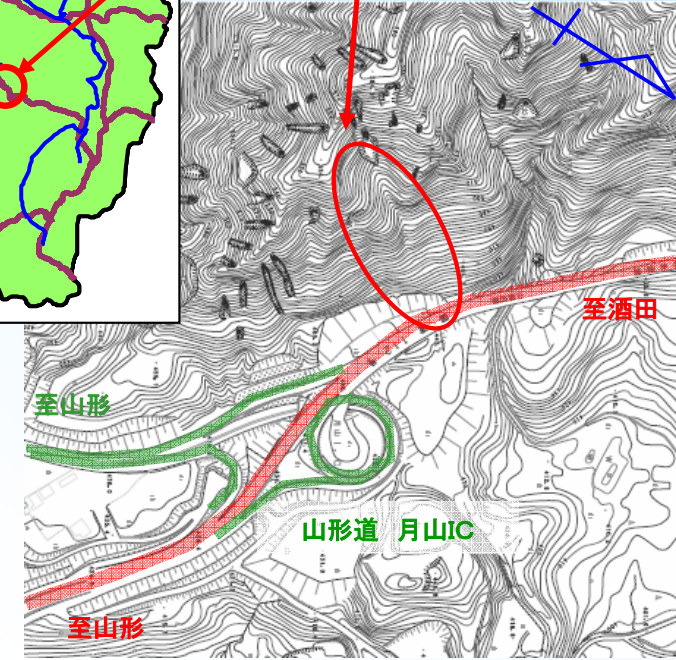
東北地方整備局 山形河川国道事務所
〒990-9580 山形市成沢西4丁目3番55号
副所長（道路担当） 高橋 敏彦（内線205）
道路管理第二課長 小倉 儀治（内線441）
Tel023-688-8421（代表）

【調査結果】

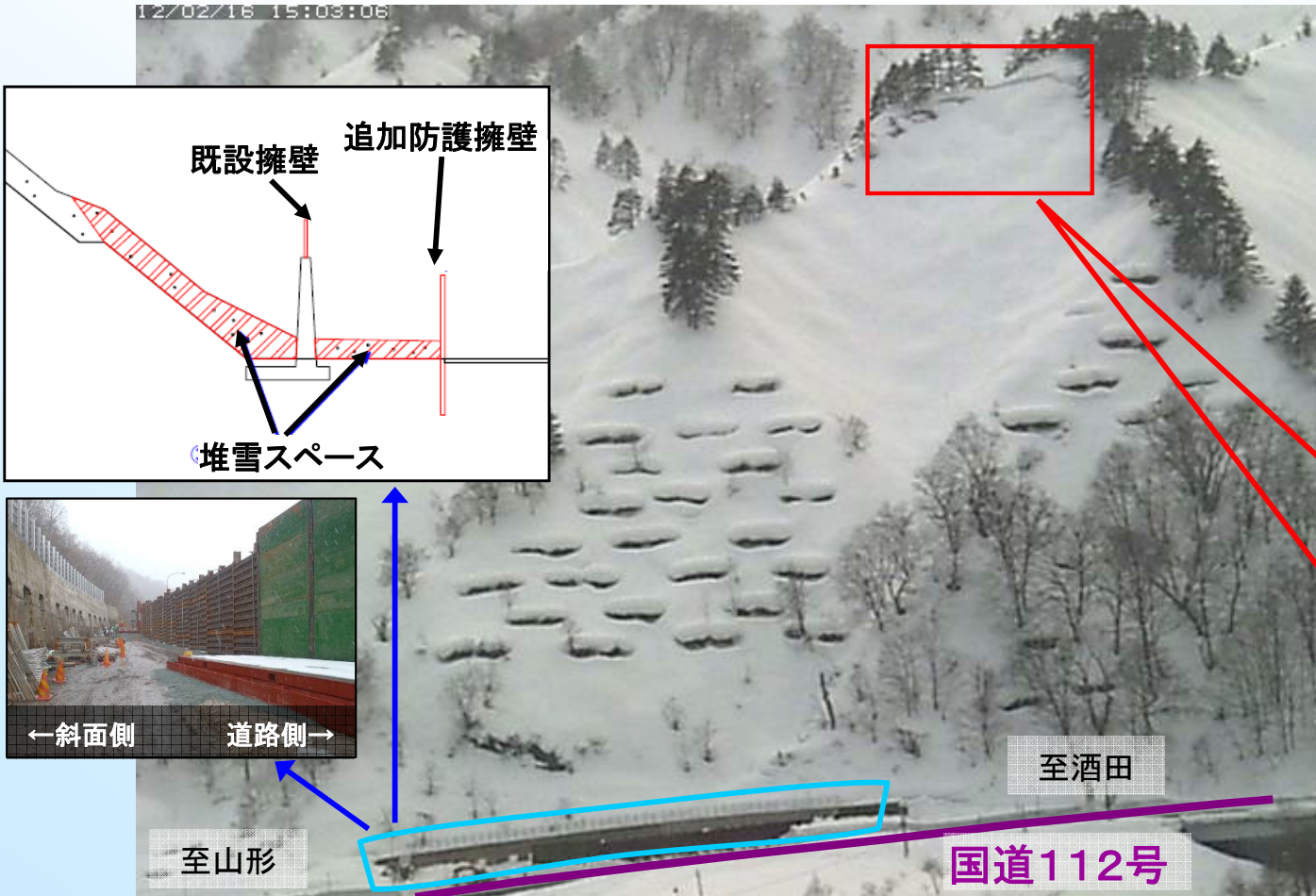
- ・山頂付近の斜面にクラック(雪割れ)が確認された
 - ・幅(開口幅) : 1~2m
 - ・延長 : 約30m
 - ・深さ : 地表面に達する



雪崩対策箇所



12/02/16 15:03:08



【拡大表示】

